



西っ子支援隊だより



西内野小学校 平成29年3月20日 No.61
地域教育コーディネーター 山岸 則子 八坂絵里子

学校支援ボランティア西っ子支援隊・セーフティスタッフさんへ 感謝の会



3月1日(木) 全校朝会にて、一年間の感謝を込めて、学校支援ボランティアさん、セーフティスタッフさん、学生ボランティアさんに感謝の会が行われました。児童代表からお礼の言葉に続き、全員で「ありがとうございました」と感謝を込めて言いました。

その後、校長室で茶話会を行い、情報交換や日ごろの活動の感想をお話しいただきました。

話の中では、「ボランティアでかかわっているから、西内野小学校の子どもがかわいい」「あいさつがとてもよくなった」「長年携わっているので、卒業生が中学生や高校生になってもあいさつをしてくれる」などの感想がありました。

今年度は、いつものボランティア活動に加え、大雪や強風など児童の安全確保でもたくさんご協力いただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。



参加された方々の一言感想

学生ボランティア

西内野小学校のみなさん、今までありがとうございました。暑い日も寒い日もいつも元気いっぱい、明るい皆さんにパワーをもらっていました。これからもそんな素敵な皆さんでいてください!! とっても楽しい日々をありがとうございました。

1年間、皆さんと一緒に勉強したり、給食を食べたり、休み時間に遊んだりできて本当に楽しかったです。西内野小学校のみなさんの元気な笑顔を忘れません! ありがとうございました。

西っ子支え隊（学校支援ボランティア）

一番下の子どもが西内野小を卒業してから10年たってもこうして小学校にかかわれていることに幸せを感じます。

前からなりたかった「地域のおばさん」にやっとなれたかな？かわいい地域の子どもたちをこれからも見守っていきます！

学校支援ボランティア4年になりました。

今年度はPTA会長の活動が多く、参加が少なかったのですが、子どもたちにだんだん顔を覚えてもらい、元気にあいさつしてくれる子も増えてきました。「ありがとう」や「また来てね」の言葉を聞くと、こちらも嬉しくなります。

ボランティアに入ったことで、できなかったことができるようになった時の子どもたちの笑顔に出会う機会がたくさんあります。

「ありがとう」の言葉にこちらも嬉しくなります。

プール授業、校外学習、家庭科の調理実習などでお世話になりました。

いつも西内野小学校の子どもたちの元気な挨拶に嬉しく思っています。一生懸命に授業に取り組む姿勢に私も元気をもらっています。

これからもよろしく願います。

自分が子どもころ「最近の子は」と親に言われる事が嫌だと思っていた私ですが、いざ自分が親になると、自分が子どもころとは大きく違う「最近の子」がわからず子育てにも頭を悩ませる日々でした。

でも、ボランティアに参加させていただくようになって、私が「最近の子」と思っていた子たちもみんな私の子どもころと変わらないと気付きました。今では、ボランティアだけでなく子育ても楽しくなりました。

5、6年の家庭科（調理）のボランティアに参加して、調理実習の時に、思った以上に子どもたちは上手に作っていました。野菜嫌いという子も自分で料理したら「おいしい」と喜んでいました。親の作った料理だけでなく、自分で作ることの楽しさを学んだように思いました。

しおかぜの図工、西っ子わくわくスクール、西っ子ふれあい広場などでお世話になっています。わくわくやふれあい広場では、他のボランティアさんにすいぶん助けていただきました。

子どもたちは皆造形活動を楽しんでくれて、とてもやりがいがありました。ありがとうございました。

いつも元気よく「あいさつ」をしてくれる西内野小学校の皆さんからボクは元気をもらっています。

ありがとうございます。

毎朝夕のセーフティスタッフさんと並べる私ではないのですが、今日の感謝の会を考えたもらった気持ちが嬉しかったです。

振り返ってみると頑張っている顔、考えている顔、“できた！”の顔を次々と思い出しました。活動に参加すると、毎日学校へ行って帰ってくるだけで花丸なんだと感じます。そんな気持ちになれる大切な時間になっています。

おこりんぼママを何度もリセットできました。ありがとうございました。



セーフティスタッフ

ボランティア活動も10年近くになりました。子どもたちの姿を見守りながら、学校に送っております。この間見廻りの周辺での異常や特別な事案の発生がなく、喜んでいきます。子どもたちの毎日の元気な姿を見て、一年一年を過ごしています。

新中浜4丁目75歳の中野茂夫です。バス通り新中浜側の信号機のある横断歩道わきで皆さんの安心、安全を見守っています。皆さんからは毎日元気をもらっています。ありがとうございます。これからも事件や事故に遭いませんよう気をつけて元気で登下校してください。

私は剣道をやっていたので、声が大きいです。大きい声であいさつすると、私の方を向いて大きい声で、小さい声で、またはおじぎを返してくれます。私はうれしくてまた明日もみんなを見守るために立とうと思います。でも、あいさつを返してくれない人がいて悲しい気持ちになります。

あいさつとあいさつは人と人をつなぐ架け橋と思っています。さあ、明日もあそこに立ってあいさつするぞ。



セーフティスタッフとして毎朝子どもたちとあいさつを行っております。やっと顔を覚えつつある。(活動は昨年1月から参加した)みんな元気よくあいさつしてくれており、さらなる成長を希望しています。
藤田金五

今年は8年ぶりの大雪で、子どもたちは登下校でとても苦労したことでしょう。地域の人たちは、除雪で毎日毎日苦労の連続でした。通学路の歩道に雪が山積みされて、車道との区別がつかない状況でした。セーフティスタッフも時々家からスコップ持参で危険と思われる歩道の除雪を行いました。(愛のひとかき運動もあります)

春先の交通安全週間のころ登下校の見守りをしています。他に、遠足など学校の行事に参加しています。

活動のアルバム

地域と学校パートナーシップ事業推進会議 (2/7)

今年度、西内野小学校で取り組んできた活動報告をさせていただき、今年度を振り返り次年度に向けて話し合いました。委員の皆さんからは、「長く続けていくことで、子どもたちが成長して今度は小学校にボランティアで来てくれている。その姿をみて子どもたちの成長を感じる。」「もっと広報してより多くの保護者にこの取り組みを知ってほしい。」「コミ協としても全面バックアップしたい」など多くのご意見をいただきました。



推進委員の皆さん

- 西内野コミュニティ協議会会長 (座長)
- 学校評議員
- 内野中学校区育成協議会会長
- 西内野民生委員児童委員協議会会長
- 主任児童委員
- 内野小・内野中地域教育コーディネーター
- 西地区公民館館長
- 西内野ひまわりクラブ
- 学校支援ボランティア

昔の遊び・1年生 (1/25、2/5)



一年生の昔の遊びの授業に、新中浜六和会と、学校支援ボランティアさん24名の方においでいただき「あやとり」「おてだま」「けん玉」「こま」を教えてくださいました。

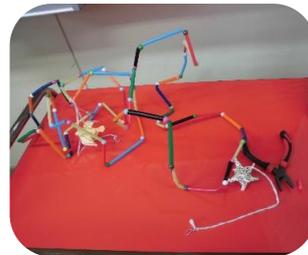
また、当日学級閉鎖でできなかった3組のために10名のボランティアさんが来て教えてくださいました。

蔵書点検 (3/13, 14)



一年間を通して活動していただきました。

しおかぜ (読み聞かせ、書写、図工)



図工では、造形活動を行いました。

玄関前のプランター



児童から、ボランティアさんたちに感謝を込めて、素敵な手作りのプレゼントがありました。

玄関前のプランターに6年生の卒業を祝して新しい花とメッセージがつけました。

このプランターは、学校支援ボランティアの土田国夫さんが製作、花植え、水やりなど日ごとの手入れも毎日のようにやっています。

登下校するときの児童や職員、来校者など玄関でこの花を見て心癒されています。